

那珂川町

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

学習指導要領及び中央教育審議会答申「令和の日本型学校教育」の構築のため個別最適な学びと、協働的な学びの実現」の実現及び那珂川町が教育大綱で掲げる「郷土に誇りを持ち、社会の一員として自立した、たくましい人づくり」を実現するため、ICT機器等を活用し、AI・ビッグデータ等の先端技術に対応できる能力を育成する教育を推進するとともに、「生きる力」をはぐくむ特色ある教育の充実を目指す。

2. GIGA第1期の総括

令和2年度1人1台端末の整備及び学校内の通信ネットワークを整備した。またGIGA端末の運用開始に合わせICT支援員を配置し、教職員や児童生徒の学習活動のサポートを行ってきた。

ICT環境の整備を進めてきたが、各学校間での利活用の差が生じている点や教職員においてもICT機器等の習熟度に個人差があり授業における活用の格差があるといった課題があり、今後はICT機器の先進的な取り組みの共有や授業研究会等による事例の紹介を実施し、より一層の端末及びクラウド活用の推進に取り組む。

3. 1人1台端末の利活用方策

途切れなく端末を利活用できるよう、共同調達により計画的に端末を整備・更新し、1人1台端末環境を維持した上で、以下の点に取り組む。

(1) 「1人1台端末の積極的活用」

端末の日常的な利活用に係る情報の共有やICT研修の充実、デジタル教材の活用により、「教育DXに係る当面のKPI」の「1人1台端末を週3回以上活用する学校の率」に示されている目標値を目指す。

(2) 個別最適・協働的な学びの充実

児童生徒が「自分で調べる場面」「自分の考えをまとめ、発表・表現する場面」「児童生徒同士や教員とやりとりする場面」において、積極的に1人1台端末を活用することができるよう、教職員内で具体的な活用事例の情報共有により、児童生徒のICT活用能力と教員のICT活用指導力の向上を図ることで、「教育DXに係る当面のKPI」の「個別最適・協働的な学びの充実」に示されている目標値を目指す。

(3) 学びの保証

不登校児童や特別支援、日本語指導など、様々な困難を抱える児童生徒に対する支援として、オンラインを活用した学習やデジタル教材の充実化など、学びの保障に係る対応を推進していく。